

第12号では、高校1年生の国内の世界遺産での研修の様子をお伝えします。

「高1SSH研修プロジェクト」

9月1日～3日までの3日間、高校1年SSH事業である「海洋環境保全プロジェクト in 西表島&石垣島」が実施され、世界自然遺産にも登録されている西表島を訪問し、研修を行いました。このプロジェクトは、本校が掲げる「環境保全を担う科学的人材の育成」の中核となるもので、県内の海洋・森林プロジェクトを基礎として、国内の海洋と森林保全について実践的なスキルを育成することを目的に実施しました。

1日目の研修では、石垣島にある白保海岸および宮良川河口付近のヒルギ林でマングローブの生態を観察し、熱帯の自然環境に触れました。

2日目は、浦内川にてマングローブをはじめとした西表島の希少動物たちの生態調査を行いました。その後、西表野生動物保護センターにてイリオモテヤマネコ等を保護する取り組みについて説明を受けました。さらに海洋マイクロプラスチックフィールド調査を星立海岸にて実施し、自然環境の保護について理解を深めました。

3日目は国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターにて、サンゴの維持・生態系向上に向けた取り組みについて環境省の方より説明を受け、活発な意見交換を行いました。

このプロジェクトを通じて、参加した生徒たちは、西表石垣国立公園に身を置き、東洋のガラパゴスとも呼ばれる生態系を肌で感じ、多くのことを学びました。さらに、そこで生活する人々が取り組む保全活動の大切さや、自分たちが今何をすべきかを深く考えることができました。

